

万代地区再開発事業

徳島市万代町の「万代中央ふ頭」は、昭和30年代半ばに完成し、新町川を利用した舟運などに活用され、中心市街地に近い海上交通の要衝でした。その後、船舶の大型化や集約化により、新町川河口や沖合に物流拠点が移転して、万代地区での船からの荷揚げが大幅に減少し、倉庫街だけが残った状況となっています。

そこで徳島県は、地域活性化や観光振興を目的に、既存倉庫をカフェ、ギャラリー、レストラン、ショップ等の「憩いの場」や「にぎわい空間」へ転換を図る「港にぎわい空間創出実証実験事業」に22年度より着手しました。

この実証実験事業では3棟の倉庫を対象に利用希望者を募り、提出される事業計画(提案事業)を審査して、候補者の選定が行われます。評価項目としては、①にぎわい作り等の話題性、②地域貢献等の社会性、③施設運営等の事業性について総合的に審査が行われます。その後、具体的な倉庫の改修内容や着手時期等の協議・調整を行い、今年度内に参加者を決定する予定です。

詳しくは、徳島県運輸政策課企画担当 (TEL:088-621-2584) へ。



倉庫Ⅲ(昭和56年築)

延床面積/452.66㎡



倉庫Ⅱ(昭和39年築)

延床面積/498.61㎡(2階含む)



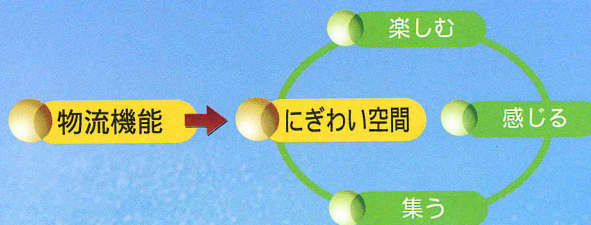
倉庫Ⅰ(平成元年築)

延床面積/327.64㎡



11月3日に倉庫を利用して、有識者、地元関係者、市民によるワークショップを開催。万代中央地区の有効な活用方法について議論がなされました。

その他、「水辺カフェ」の設置や「とれとれ水産市」等のイベントも行われ、大盛況でした。



↑ 賑わい空間のイメージ